

# 宮城県復興まちづくり通信

Vol.38



気仙沼市 大島浦の浜地区に令和2年3月8日プレオープンした「気仙沼大島ウエルカム・ターミナル施設」  
気仙沼大島の観光・交流拠点として、更なる賑わいの加速化が期待されています。

令和2年3月発行

## 復興交付金の交付可能額通知(26回目)

令和2年2月28日に、復興庁から復興交付金の交付可能額通知(26回目)があり、県内の市町へ約175億円(事業費ベース)が配分されました。第1回から今回までの配分額合計は、約2兆1千150億円となります。

このうち国土交通省所管事業には約169億円が配分され、その主な配分額は、気仙沼市、石巻市、名取市、女川町の災害公営住宅家賃低廉化事業、東日本大震災特別家賃低減事業に96.4億円、女川町の被災市街地復興土地区画整理事業に52.6億円、石巻市の下水道事業に14.9億円などとなっております。

なお、今回の復興交付金の申請が原則最後となりますが、各市町の復興事業の完成に必要な額が確保されたこととなります。

### 復興交付金 交付可能額集計表(市町事業+県事業)

(事業費ベース、単位:億円)

市町名	第25回までの交付可能額計		第26回交付可能額				合計	
	全体	国交省所管事業	全体	国交省所管事業	県事業	市町事業	全体	国交省所管事業
気仙沼市	3,708.4	3,091.8	30.4	30.4	0.0	30.4	3,738.9	3,122.2
南三陸町	1,425.6	1,217.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1,425.6	1,217.9
石巻市	6,805.3	6,191.8	65.5	65.5	1.5	63.9	6,870.8	6,257.3
女川町	1,918.4	1,570.5	64.9	64.9	3.0	61.9	1,983.3	1,635.4
東松島市	2,022.6	1,830.1	5.1	0.0	0.0	0.0	2,027.7	1,830.1
松島町	290.9	241.1	0.0	0.0	0.0	0.0	290.9	241.1
利府町	77.2	37.1	0.0	0.0	0.0	0.0	77.2	37.1
塩竈市	675.4	537.8	0.0	0.0	0.0	0.0	675.4	537.8
七ヶ浜町	419.6	341.3	0.0	0.0	0.0	0.0	419.6	341.3
多賀城市	577.1	572.4	0.0	0.0	0.0	0.0	577.1	572.4
仙台市	2,416.4	2,371.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2,416.4	2,371.3
名取市	1,192.7	984.3	8.6	8.6	0.0	8.6	1,201.3	992.9
岩沼市	908.1	735.4	0.0	0.0	0.0	0.0	908.1	735.4
亘理町	858.3	436.7	0.0	0.0	0.0	0.0	858.3	436.7
山元町	1,085.0	703.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1,085.0	703.6
白石市	10.0	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	4.6
登米市	28.2	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.2	28.0
栗原市	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	3.1
大崎市	69.6	57.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.6	57.0
大郷町	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9
涌谷町	16.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0	16.0
美里町	7.6	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.6	7.5
計	24,516.3	20,980.3	174.5	169.4	4.5	164.8	24,690.8	21,149.8

※端数処理により合計と一致しない場合があります。※流用額等は反映していません。

# トピック

石巻市

地域の賑わい復活へ 石巻市に2つの観光拠点施設がオープン。

石巻市の牡鹿地域、雄勝地域にこの春、地域の賑わいづくりの拠点となる新たな観光拠点施設がオープンします。

## 【石巻市牡鹿地域拠点エリア】

石巻市牡鹿地域の拠点エリア（ホエールタウンおしか）に、令和2年4月「おしかホエールランド」がオープンします。

おしかホエールランドは、捕鯨の歴史と鯨の文化を伝える施設として平成2年に開館しましたが、東日本大震災の津波で被災し長らく休館を余儀なくされました。このたび、鯨の貴重な骨格標本展示などにより、牡鹿ならではの展示ストーリーをわかりやすく体感できる施設として生まれ変わります。

昨年7月には31年ぶりとなる商業捕鯨も再開され、鯨の食文化の発信や交流人口増加への一つとして大きな役割を担います。

なお、昨年10月には、新鮮な海の幸を使った食事の提供や海産物などを販売する観光物産交流施設の「cottu（こつ）※」、牡鹿半島の自然やアクティビティなどの情報を発信する「牡鹿半島ビジターセンター」がオープンしており、今後ますます牡鹿地域の拠点エリアの賑わいが期待されます。

（※「こっち」の石巻弁）

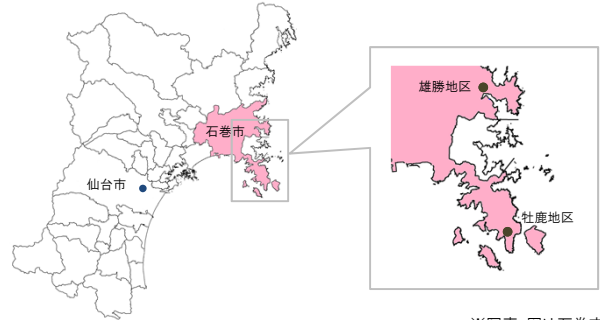
## 【石巻市雄勝地域拠点エリア】

石巻市雄勝地域の拠点エリアに「雄勝硯伝統産業会館」と「雄勝観光物産交流館」が令和2年4月にオープンします。

平成2年に開館した雄勝硯伝統産業会館は、東日本大震災の津波で大きな被害を受け休館していましたが、このたび拠点エリア内に再建されます。

「雄勝石」は、古くから硯や工芸品の素材として利用されているほか、良質なスレート材として、東京駅丸の内駅舎などにも使用されており、雄勝硯伝統産業会館は「雄勝石」の歴史や地域の伝統工芸を未来へと継承していく施設です。また、隣接する「雄勝観光物産交流館」では、雄勝地域の特産品をメインとした物産販売や飲食店、雑貨・日用品等を取り扱う店舗等が出店いたします。

雄勝地域拠点エリアに、市内外からより多くの人々が訪れることで観光・交流による更なる賑わいが期待されます。



※写真・図は石巻市提供



図：「ホエールタウンおしか」鳥瞰図



図：「おしかホエールランド」



写真：石巻市雄勝地域拠点エリア



図：雄勝硯伝統産業会館



# トピック

気仙沼市

「気仙沼大島ウェルカム・ターミナル施設」が令和2年3月8日にプレオープン

美しい自然に囲まれ「緑の真珠」と称される気仙沼大島。

その玄関口に位置する本施設では、旬の海産物や農産物が並ぶ地場産品直売所（近日開業予定）や、浦の浜湾を一望しながら寛げるテラス席、イベントなどにも利用できる多目的スペースなどを備えています。隣接する商業施設「野杜海（のどか）」（昨年7月オープン）では、カフェや鮮魚店など5店舗で、旬の地元食材を活かしたグルメを堪能できます。

気仙沼市では、昨年4月に開通した「気仙沼大島大橋」によって市内からの交通アクセスが飛躍的に向上し、これまでに多くの観光客が訪れています。県道大島浪板線の磯草から浦の浜までの区間も来年度末に完了する予定で、気仙沼市の観光・交流の拠点として更なる賑わいの加速化が期待されます。



※図は気仙沼市提供



図（上）多目的スペース（下）テラス



図「気仙沼大島ウェルカム・ターミナルエリア」

女川町

震災遺構「旧女川交番」の完工式を開催

女川町では、震災の津波によって横倒しとなった「旧女川交番」を震災遺構として保存する取り組みを行ってきましたが、長期的な保存に必要な施設の整備工事などが完了し、令和2年2月29日に完工式が開催されました。

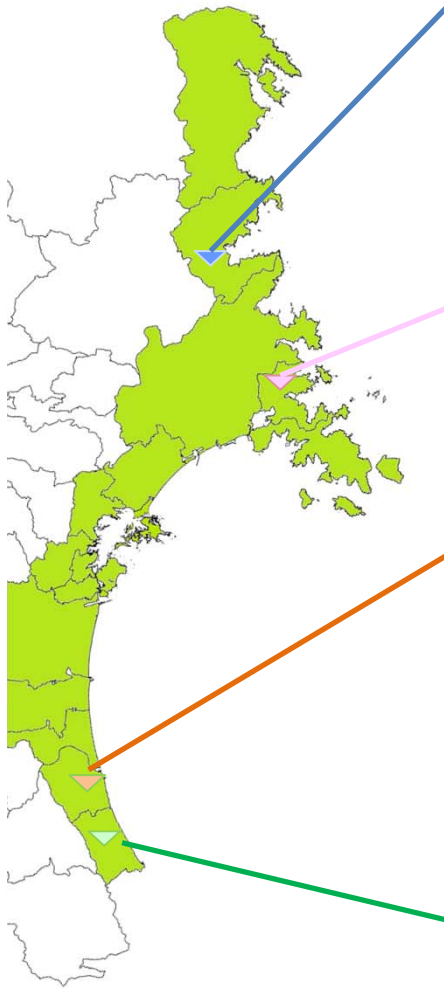
「旧女川交番」の保存は、当時の女川第一中学校の生徒たちが「震災の被害を後世に伝えるために残して欲しい」と町に対して保存を訴えたことがきっかけとなり実現したものです。遺構を覆う壁には、震災前の町の様子や被災状況、まちづくりのあゆみを記したパネルが展示されています。



写真：「旧女川交番」(女川町提供)

## トピック

震災により被災した県内4町の役場本庁舎の建て替え工事は、亘理町役場の完成をもって全て完了しました。従来からの行政サービスの充実のほか防災対策の強化にも配慮した庁舎になっています。



### 南三陸町役場

平成29年9月業務開始

防災対策の拠点として高台に建設され、太陽光などのエネルギー対策を講じています。また町内で産出された杉材を多用し、来庁者の多い窓口業務を1階へ配置するなど来庁者の利便性に配慮した構造となっています。



### 女川町役場

平成30年9月業務開始

女川駅南側の安全な高台に立地し、役場機能のほか、ホールや図書室からなる生涯学習センター、保健センター、子育て支援センターが入居する複合施設で、利便性・機能性が高く、町民みなさんが快適に過ごすことのできる施設となっています。



### 亘理町役場

令和2年1月業務開始

3階建てで、保健センターを併設し、役場機能が集約化されています。庁舎内には72時間分の非常用電源を配備し、屋上にはヘリコプターによる緊急救助スペースを確保するなど防災拠点としての役割も持っています。



### 山元町役場

令和元年5月業務開始

鉄筋コンクリート2階建てで、各部署、窓口間の動線をできる限り少なくし利便性を高めたほぼ円形に近い構造が特徴です。吹き抜けのロビーに自然光を取り入れ、太陽熱集熱パネルを設置するなど省エネルギー対策にも配慮した構造です。



## 復興まちづくり推進室の取り組み

### 被災3県合同による復興まちづくりパネル展を開催しました

東日本大震災からまもなく10年目を迎え、岩手県、宮城県、福島県では国内外の多くの方々から御支援をいただきながら、復興の総仕上げに取り組んでいます。新しい時代を迎えた今年度、復興が進む岩手・宮城・福島の“今”，そして震災の記憶を次の世代に伝える新たな企画として「東日本大震災からの復興まちづくりパネル展～いわて・みやぎ・ふくしま～」を3県合同で開催し、各県の多くの方々に復興状況をお伝えしました。



令和元年9月17日から10月4日まで  
福島県(コラッセふくしま、福島県庁)



令和2年2月3日から2月18日まで  
岩手県(岩手県庁)



令和2年3月2日から3月13日まで  
宮城県(仙台市青葉通)

編集・発行  
宮城県土木部復興まちづくり推進室

〒980-8570  
宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号  
TEL 022-211-3207 FAX 022-211-3295  
fukumachi@pref.miyagi.lg.jp